

(第 1 回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和7年1月16日
契 約 業 者 名	R 6 自動運転検討業務道路新産業開発機構・パシフィックコンサル タンス・日本工営・長大・大日本ダイヤコンサルタント設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都文京区関口一丁目 2 3 番 6 号
業 務 の 名 称	R 6 自動運転検討業務
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
業 務 概 要 (変更した内容について 記述する)	・路車協調実証実験に伴うセンサ数の増加 ・路車協調システム実証実験の実施の変更 ・路車協調システム及び走行空間の効果検証の変更 ・履行期間
履 行 期 間 (自)	令和6年6月8日
履 行 期 間 (至)	令和7年3月31日
変 更 前 の 契 約 金 額	399,949,000 円 (税込)
変 更 金 額	69,190,000 円 (税込)
変 更 後 の 契 約 金 額	469,139,000 円 (税込)
変 更 理 由	・自治体、自動運転バスシステム開発者などの実験関係者と共に実証実験箇所を現地踏査したところ、変則交差点箇所や検知範囲などから、当初想定したセンサ 1 基では、検知範囲が不足する箇所が確認された。そのため、実証実験の実施には、複数のセンサを設置する必要があることから、センサ数を増加する。 ・センサ数増に伴い、路車協調システム実証実験の実務量が増えることから増工する。 ・センサ数増に伴い、路車協調システム実証実験の効果検証の実務量が増えることから増工する。 ・センサ数の増加に伴い、データ処理量も増加し処理日が必要なことから、履行期間について延伸する。